

法人(事業所)理念		保護者の皆さんが子どもさんの成長を喜び、笑顔で暮らせるように支援したいと思い、日々療育に取り組んでいます。そして、親子で安心して育っていくことができるよう関係機関とのつながりにも力をそいでいます。親がきつい時、子どももきついのかもかもしれません・・・早期に専門家に相談することで適切なアドバイスがもらえて楽になることもあります。だから、一人で悩まず、いつでもご相談ください。お待ちしております。					
支援方針		お子さんとその家族の生活を考えた支援をおこないます					
		個別・小集団での療育を提供します					
営業時間(平日)		9 時	30 分	18 時	0 分	送迎実施の有無	なし
営業時間(学校休業日)		8 時	30 分	17 時	00 分		
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	作業療法士の作成したプログラムに基づき、心身機能評価や訓練を実施します (視覚的に「何がどこにあるか」「どこで何をするか」を絵などを使い具体的に表示) 時間に応じた行動の切り替えができるように支援します 季節に応じた課外活動において、適当な衣服の経験を促していきます クッキング活動を通して食事の楽しさや気持ちの共有、必要な機能の確認を行っていきます					
	運動・感覚	遊具や器具を使った遊びなや運動を取り入れ、保有する感覚を総合的に活用できるように支援します それぞれの発達状態に応じて、遊びの中で体幹を使い、鍛えながら、椅子や机を用いた支援において正しい姿勢が習慣づくように支援します 感触を確認し、指先を動かす砂遊び・粘土遊び・製作活動を提供します トランポリン・ブランコ・バランスボール体幹を鍛える遊び(訓練)を行います 触覚等への過敏さに対し間接的配慮・工夫の設定を行います					
	認知・行動	感覚遊びを通して物の変化と感覚の認知、音楽やリズムを使って五感を知る経験を実施します 外出活動を通して季節の変化への興味や感覚を形成します 小集団でのゲームでの適切な行動形成、ルールに合わせた経験を促していきます 様々な活動を通して各認知機能の経験を行っていきます ビジョントレーニングを取り入れて支援します					
	言語・コミュニケーション	個別や活動を通して、児に合わせたことばかけを行っていきます SST等活用しコミュニケーション能力の向上を図ります 個別療育の中で読み書きに関して本児の特性に応じて支援を行います 個別療育・小集団療育の中で適切な表現や伝え方を経験する場を設けていきます 季節や時期に応じたことばに触れ、様々なことばを知る経験を重ねていきます					
	人間関係・社会性	小集団・個別療育の中で大人や他児と協力・話し合いを行なうことで人間性や社会性を育てます 小集団活動の中で適宜モデルを見せたり必要な手助けを行いながら社会性の向上を促します ルールのあるゲーム遊びなどを通して他者との関わり方や気持ちの切り替えを経験できる支援を行います					
家族支援		活動後の振り返りの際などに活動の様子やご家庭、小学校での困り感などを共有する機会を設けます 必要に応じて相談に対する適切な助言などを行っています					
移行支援		移行先(小学校や中学校など)へ、子供の状態・保護者の意向・支援方法を伝達します ご家族への情報提供(検査結果など)や転勤先などへの情報提供を行います 併用利用先との情報や支援内容の共有、利用日数や利用時間等を調整して支援します					
職員の質の向上		社会福祉協議会等が開催する研修への積極的参加 WEB研修を受けられる環境が整備されている。 事業所内での研修(療育会議)や外部で実施されている研修に参加し知識と専門性を高め質の高い療育が実施できるように取り組みます					
地域支援・地域連携		学校等との支援方法や環境に関する相談援助(カンファレンスへの参加) 必要に応じて情報提供書の作成や共有を行なっています 個別支援計画の作成または見直しに関する個別支援策定会議を開催します					
主な行事等		春:地域の活動に参加 夏:七夕・プール 秋:ハロウィン			冬:クリスマス・お正月・節分・遠足・お楽しみ会		